昭和25年10月3日第3種郵便物認可
日刊 熊野新聞

活動通じ温かな気持ちに

城南中でオレンジリボン授業参観

新宮市

新宮市立城南中学校（中田善夫校長）は7日、各学年を対象に授業参観を開き、「オレンジリボン」の授業を実施した。4年目になる取り組みで保護者らが見守る中、生徒たちは児童虐待などへの学びを深めた。

オレンジリボンキャンペーンは2004年に栃木県で子どもが虐待を受け、命を奪われた事件をきっかけに始まった。会場となった体育館には3日の文化祭で教職員や保護者らから集まった子どもたちへのメッセージカードが飾られた。森浦展行教諭が授業を進行し、子育てあんしんネットしんぐうの会員らと、市社会福祉協議会の大谷康央事務局長が見学に訪れた。

2年生の授業では森浦教諭が社会運動に対して支援や賛同を表す「アウェアネス・リボン」の色と意味を説明した。生徒らは協力してオレンジリボンのバッジを作り、カードにメッセージを記入した。最後は生徒を代表して玉置七彩（なな）さんがあいさつし、授業が終了した。

大谷事務局長は「地域と学校がつながることで、一つのきっかけができてくれれば」。子育てあんしんネットしんぐうの川嶋ひとみ委員長は同校の積極的な取り組みに感謝し「『虐待』という言葉は重たいですが、皆が笑顔で相手を思いやる気持ちを忘れないでくれれば」。

森浦教諭は「温かい気持ちになってもらい、一人で抱え込まずに誰にでも相談してもらえれば」と話していた。

（榮本康人）

オレンジリボンを作る生徒ら＝7日、新宮市立城南中学校

食に感謝し楽しく交流

北山小でふれあい収穫祭

北山村

北山村立北山小学校（山本佳人校長、児童16人）で1日、ふれあい収穫祭があった。児童と保

餅つきに挑戦する児童ら＝1日、北山村立北山小学校